



令和4年2月22日

住宅火災による死者が急増!!

令和4年中の住宅火災による死者は26人（2月22日16時現在、速報値）発生し、昨年の同時期と比較すると10人増加となっています。

特に、2月に入ってから死者は19人と急激に増加しており、死者に占める65歳以上の高齢者の割合が約8割と高くなっています。

東京消防庁では、高齢者等のお住まいに潜む火災危険等をアドバイスする「住まいの防火防災診断」などの対策を推進し、都民の皆様にご注意喚起を行っています。

※同時期とは1月1日から2月22日までの間、死者は自損を除く

1 住宅火災による死者の状況について

- (1) 本年1月1日から2月22日まで、死者が発生した住宅火災は22件発生し、火災による死者が26人となっています。そのうち65歳以上の高齢者が約8割（22人）を占めています。
- (2) 主な出火原因は、たばこ（7件）、ストーブ（2件）、こんろ（2件）、コード（2件）の順となっています。（別添え 4参照）
- (3) 65歳以上の高齢者の死者22人のうち、約7割（15人）が「出火時に一人」であり、また「一人暮らし」が約6割（14人）でした。
- (4) 住宅用火災警報器等の設置状況は、設置あり（10件）、設置なし（9件）、不明・調査中（7件）となっています。

2 出火防止対策等について

近年の死者が発生した住宅火災の主な出火原因は、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」となっており、出火防止のポイントは以下のとおりです。

- (1) たばこ
火源の落下による出火が多く、不始末による火災も発生しています。
 - ・寝たばこは絶対にしない。
 - ・飲酒→喫煙→うたた寝に注意する。
 - ・吸殻を灰皿にためない。
 - ・吸殻は水で完全に消してから捨てる。
 - ・火種を落とさないように安全な場所で喫煙する。
- (2) ストーブ
可燃物と接触、可燃物の落下による出火が多くなっています。
 - ・周囲に燃えやすいものを置かない。

- 外出時や就寝時は必ず消す。
 - 給油は必ず消してから行う。
 - ストープの近くで洗濯物を乾かさない。
- (3) こんろ
- 可燃物の接触による出火が多く、身に付けている衣服と火源の接触による火災も発生しています。
- 調理中に離れない。
 - 周囲に燃えやすいものを置かない。
 - 防災品のエプロンやアームカバーを使用する。
 - 火が鍋底からはみ出さないように調節する。
 - 安全機能（Si センサー）付きこんろを使用する
- (4) 住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理
- 住宅用火災警報器を設置することで火災を早期に発見し、速やかな通報や消火、避難が可能となり、被害を防止、軽減することができます。
- 設置場所は、全ての居室・台所・階段です。
 - 定期的に（少なくとも半年に1回）点検をしましょう。点検は、「ボタンを押す」または「付属のひもをひく」ことで実施でき、正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
 - 設置後10年を経過したものは、電子部品の劣化等により火災を感知しなくなるおそれがあるため、機器本体を交換しましょう。

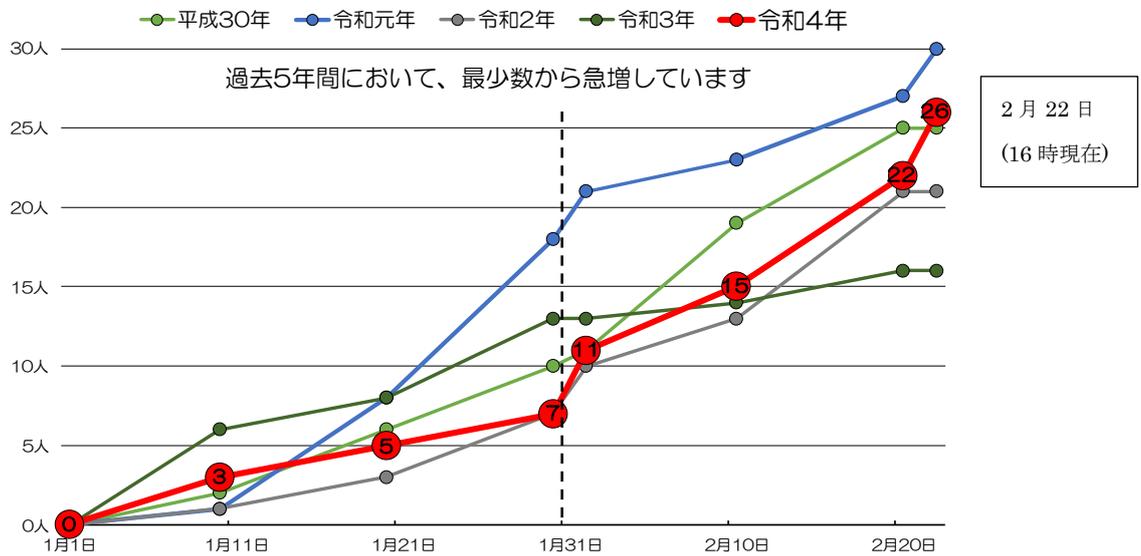
※住宅火災による死者の発生状況、住宅用火災警報器の点検方法は、別添えを参照してください。

問合せ先

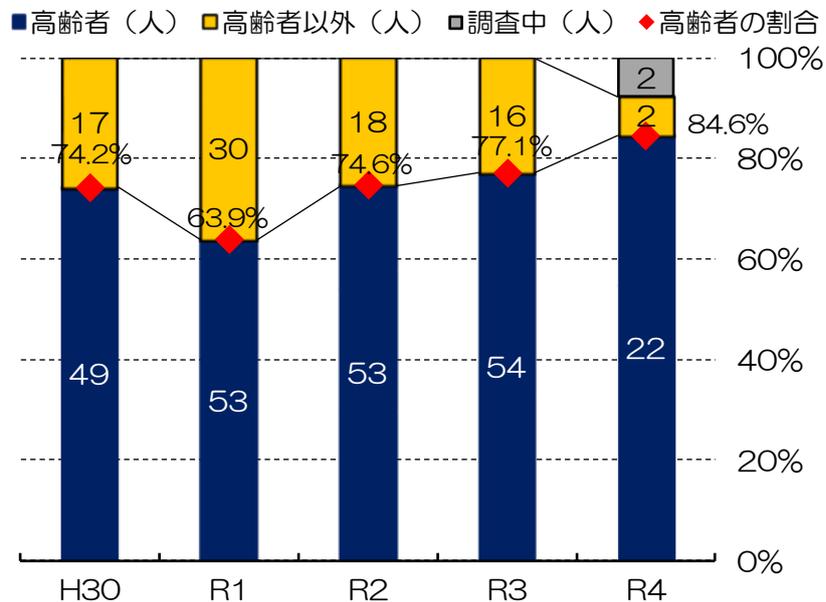
（東京消防庁（代） 電話 3212-2111
防災安全課生活安全係 内線 4195
広報課報道係 内線 2345～2350）

【令和4年2月22日16時現在】

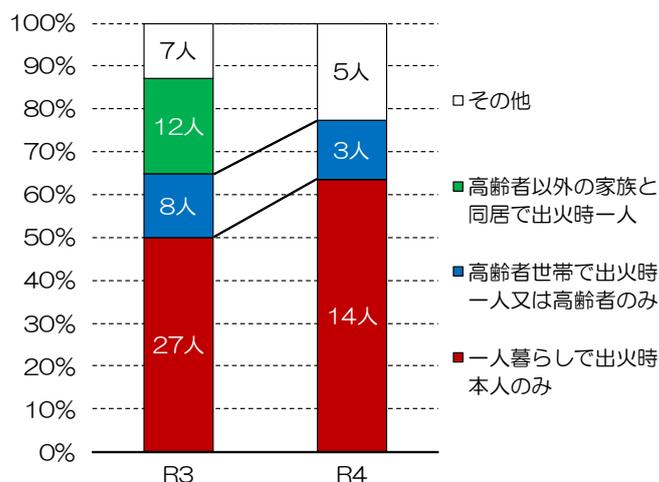
1 平成30年以降の住宅火災による死者発生状況の推移（10日間毎）



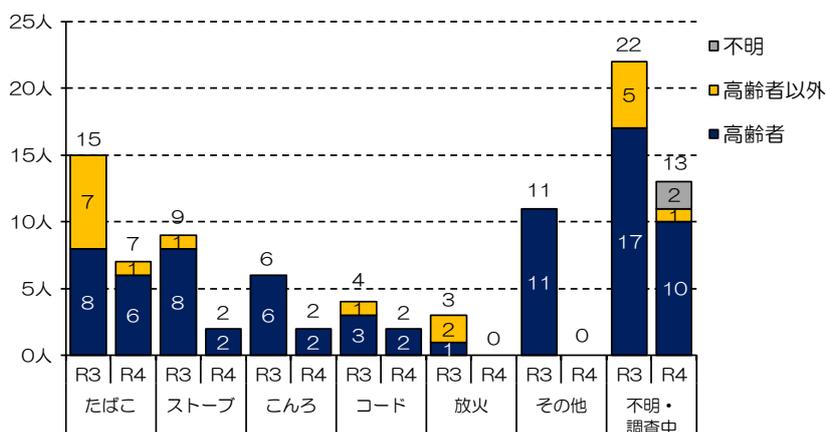
2 平成30年以降の住宅火災の死者に占める高齢者の割合



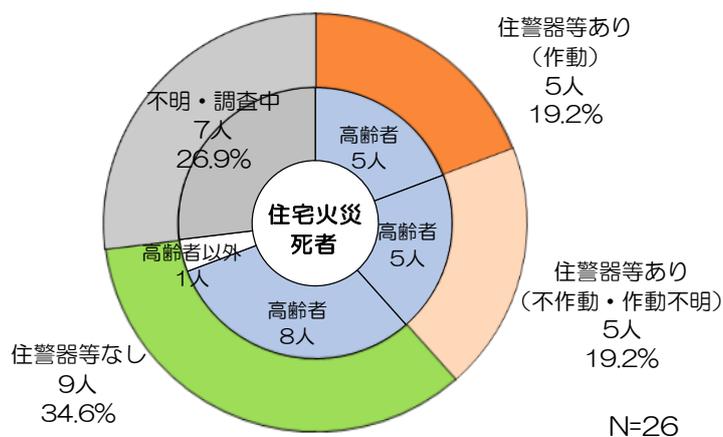
3 令和4年と令和3年中における高齢者の出火時の状況



4 令和4年と令和3年中における出火原因別の死者発生状況



5 令和4年における住警器等の設置状況別の死者発生状況



注1 住宅火災による死者とは、寄宿舍、下宿、共同住宅、専用住宅及び長屋の用に供する建築物又はその部分から出火した火災により死亡した者（自損により死亡した者を除く。）をいう。

注2 高齢者とは、65歳以上の者をいう。

注3 令和3年及び令和4年（2月22日現在）の数値は速報値。

注4 平成30年から令和3年の数値は1年間の合計値。

6 住宅用火災警報器の点検方法

Check!! 住宅用火災警報器の点検方法

本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検できます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



ボタンを
押す！

または



ひもを
引く！

※一般的に点検の際の音声等は自動で停止します。